

「ミライビジョン2050」の意義

長期を展望して設定する

普遍的な豊田市のまちづくりの方向性

めざす姿

(仮) つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた

継承

● 「つながり」を通じ、多様な価値や可能性を創出するまち

・豊田市の多様な地域の資源を、愛着や誇りをもって守り、次代を担う子どもたちに継承する持続可能なまちを実現するためには「人と人」「人と地域、自然」とのつながりを通じた「認め合い」「気づき」「学び」がますます重要。

深化

● 「チェンジ (変化)」と「チャレンジ (挑戦)」を繰り返し、しなやかに変化し続け、成長するまち

・変化のスピードが速く、常に前提が変わっていく社会環境においては、まちを能動的かつ柔軟に変え続けていくことが重要。そのため、あらゆる主体が変化を積極的・前向きに受容し、主体的に一步踏み出して、心豊かな社会を実現していくことが必要。

めざす姿の実現を下支え

都市構造について

(別紙参照)

展望する年次

カーボンニュートラル
の実現

2050年

国の総人口が約8割に
(2020年比)

技術の進歩による
社会生活の劇的な変化

まちづくりの基本的な考え方

発想の転換 【8総から継承】

- 「個の充足・完結」から「つながり・関係性の拡がり・深まり」重視へ
- 「ないものを補う」から「あるものを生かす」発想へ
- 「足し算 (積み重ね) に「かけ算 (組み合わせ)」思考を
- 「行政がリードするまちづくり」から「多様な主体が楽しむまちづくり」へ

3つの「変える」を意識

- 見方を「変える」<気づく>
 - ・思い込みや前提認識を変える。多様な価値観を認識し、認め合う。
- 思考を「変える」<考える>
 - ・常に社会潮流の変化を観察し、考え方を柔軟に変化させる。
- 行動を「変える」<行動する>
 - ・主体的に物事を捉え、行動につなげていく。

「ミライビジョン2050」の実現に向けて

- 「豊田市民の誓い」の実践
- 「豊田市まちづくり基本条例」に基づく実施